

議会報告会で頂いた意見・要望等と回答について

亀岡地区西部会場

| | 意見・要望などの概要 | 当日回答内容 |
|---|---|--|
| 1 | 急傾斜地に指定されているところに住んでいるが、対策工事が中断されたままであり不安である。財政調整基金を取り崩してでも早く工事を完了させてほしい。旧亀岡幼稚園も崖崩れの危険性が原因で移転したのではないのか。 | 幼稚園については、崖崩れが原因だとは聞いていない。少子高齢化の中で統合されたと理解している。対策工事が中断していることは承知している。要望として受け止める。 |
| 2 | 議会報告＆わがまちトークの参加人数が少なく、開催地域が偏っている。1会場あたりの議員数を減らし、開催会場を増やしてはどうか。また、議会だよりに掲載されていないことについて聞かせてもらいたい。議員の紹介は短くして、もっと市民の意見を聞く形にしてほしい。 | 会場については、今年度は24カ所の地域で開催する。6月については、2日間で6カ所、全員で対応していく。 |
| 3 | 新しい事業を興すのも良いが、今ある建物をどうするのか。市民は、亀岡会館や公民館の今後を心配している。スタジアムに一生懸命で、他のことが置き去りにされているようだ。トータルで考えて亀岡市をどうしていくのか考えてほしい。 | — |
| 4 | 住宅を建てれば人口が増えるというものではない。子育て支援や浸水対策をしっかりしないと、いったん人口が増えてもまた減ってしまう。新しいものを建てることばかり考えないで、今ある亀岡の豊かな自然を生かして、どこにも負けない良いまちにするべき。 | 本日の議会運営委員会で、議員有志が集まって亀岡市の資源を活かしたまちづくりを研究する政策研究会の立ち上げが議論された。今後に期待していただきたい。 |
| 5 | 人口増加のための施策を。亀岡市には施策が少ないように思う。 | 災害に強い亀岡というのは絶対要件であるが、亀岡市にとって人口減少の対策が一番の課題であると認識している。それには、働く場所と子育て支援が必要である。働く場所については、縦貫が全線開通することにより、亀岡にも可能性が出てくるのではないかと期待している。子育て支援の施策の充実に対しては、議会も常に呼びかけをしながら取り組んでいるが、特効薬はなかなか見いだすことができない。亀岡も時代に応じた形での施策を見いだしていけないといけない。 子育てしやすいまちについては、環境厚生常任委員会で子育て支援団体と意見交換会を行った。そのように、議会では市民との意見交換を行う取り組みを始めているので、そのようなアイデアもたくさんお寄せいただきたい。 |
| 6 | 人口減少は最大の課題。議員は会派を問わず少子化対策にもっと取り組んでいただきたい。 | |
| 7 | 人口増加策では、いかに若い女性に住んでもらうがポイントである。子育てがしやすく、意見の言いやすいまちにしていくべき。 | |
| 8 | 地元の人が事業を興せるようなことを考えてほしい。市外から企業を誘致したり、コンクリートを使うだけでなく、いまあるものを生かす方が市民全体が潤うのではないか。こちらのほうが知恵がいるが、長い目で見れば亀岡にとって良いのではないか。 | — |

議会報告会で頂いた意見・要望等と回答について

亀岡地区西部会場

| | 意見・要望などの概要 | 当日回答内容 |
|----|--|---|
| 9 | 滋賀県竜王町ではフッ化物を利用してほとんどの子どもが虫歯ゼロであるというニュースを見た。予算もほんの少しなので、亀岡も実施してはどうか。 | 議会においてはこれに対する考え方はひとつではないが、亀岡市でも、小学校でフッ化物洗口を行っている。 |
| 10 | 亀岡の野菜はとてもおいしい。この強みをもっと活かし、全国にアピールしてはどうか。 | — |

議会報告会で頂いた意見・要望等と回答について

畑野会場

| | 意見・要望などの概要 | 当日回答内容 |
|---|---|--|
| 1 | 市議会の傍聴に行きたいと思っているが、何分、畑野から遠いので、その願いは叶えられていない。そうした中、このように毎年、議会報告会を開催してもらえることに感謝を申し上げる。 また、畑野町民の悲願であった水道を叶えていただいたこと、ふるさとバスの運行をいただいていることについても感謝を申し上げます。 | — |
| 2 | ふるさとバスについては、平日に比べて土・日の運行は少なくなるが、土・日に会合等の用務が多いので、増便の配慮はしてもらえないか。 | ふるさとバスの土・日の増便については、予算を伴うことでもあるので、この場で即答はできないが、要望していただいている内容は理事者に伝えていきたい。 |
| 3 | 教育委員会制度改革について、説明をいただいたが、亀岡市の実情はどうか。 | 現在、教育委員会において新しい制度への移行に向けて、検討がされている。現在の教育長の任期中は、今までどおりの体制だが、任期が終われば、市長から任命される特別職としての教育長ができて、教育委員長はなくなることとなる。 |
| 4 | 公立小中学校の統合問題について、亀岡市の対応は。 | 現在、教育委員会において、学校規模の適正化について検討がされており、亀岡市としての小中学校統廃合の方針は出されていない。 |
| 5 | 浄化槽の料金が高いので、引越しをされる方も多し。また、料金の安い豊能町、能勢町の業者に頼みたいという人もおられるが、市の取り組みで何とか料金を下げる等の対応ができないのか。 | 浄化槽の料金の件については、これまでから取り上げさせてもらっているが、今後の検討課題とさせていただきたい。 浄化槽の管理、汚泥の引き抜きについては、それぞれの市町村が許可した業者でないとできないので理解願う。 |
| 6 | 亀岡市立病院があるにもかかわらず、市外の病院に入院する亀岡の患者が多いように思うが、優れた医師の確保に努めていただきたい。 | 医師の確保については、市長、管理者も懸命に努力している。亀岡市民のための病院になるよう、我々も努力するし、病院にも伝えていきたい。 |
| 7 | 亀岡市内の空き家の状況は把握されていないと思うが、市議会でも空き家の活用について、一つのテーマとして取り上げてもらえないか。 | 空き家問題は全国的な問題となっているが、市議会の中でも、多くの議員が質問を行ってきたところである。空き家対策に係る法律の施行により、今後、府市がどう対応するのが課題となってきており、我々もしっかり取り組んでいきたい。 |

議会報告会で頂いた意見・要望等と回答について

保津会場

| | 意見・要望などの概要 | 当日回答内容 |
|----|---|--|
| 1 | スタジアム完成後について、年間入場者が少なく採算が合わないのではないかと。 | 議論の最中であるが、入場者をもてなして、スタジアムを核とした活性化と経済効果を考えている。 |
| 2 | 財政が厳しいなか、スタジアムに多額の予算を計上している。高齢者世帯が増加しており、老人医療などに予算をまわした方がよい。今後、高齢者をどのように守るのか。 | 限られた予算の中で、高齢者の方を置きざりにすることなく、安心して生活が出来るように努力する。 |
| 3 | 平和人権特別委員会が解散したが、事業の公平性が保てるのか。地域の現状を見て欲しい。 | 今後、現地を確認するなど意見を聞かせていただく。 |
| 4 | 国民健康保険について、装具費等の助成は個人が全額支払い申請をしてから、約3ヶ月後に入金される。個人の負担が大きい。何とかならないか。 | 環境厚生常任委員会で回答する。 |
| 5 | 議会改革とは何なのか。どのような改革が行われたのか。 | 情報公開を行い積極的に市民参加を呼びかけている。今後わかりやすい説明をしていく。 |
| 6 | 議長職の任期は1年でなく、2年や3年にすべきではないか。 | 議員は市民の代表であり、全議員が議長として職務に耐えうる能力を有している。平等に議長職を経験するため、1年任期を原則としている。 |
| 7 | 市議会議員一般選挙について、次回選挙で投票数が減るといことは、市民からの忠告である。減らないように頑張してほしい。 | 肝に銘じて頑張る。 |
| 8 | 保津橋を自転車が走ると危険。また、スタジアム完成後の渋滞が心配である。 | スタジアム建設に合わせ、インフラ整備を行う。 |
| 9 | 治水問題について、スタジアム建設による解決策を検討するだけでなく、国や府に対し早期の河川整備を行うような活動を願う。 | — |
| 10 | アユモドキは保津町の地元で保全活動を行い守ってきた。スタジアム建設にアユモドキは関係ない。アユモドキを政治の道具にしないしてほしい。 | — |

議会報告会で頂いた意見・要望等と回答について

本梅会場

| | 意見・要望などの概要 | 当日回答内容 |
|---|---|--|
| 1 | 昨年度は議会報告会はなかった。1年間、寂しい思いをした。それを今年復活していただいて意義深いことと思う。 | 昨年度は地域を回るということより、特定テーマの意見交換会をやってみようということで形を変えて実施した。それが市民にとってよかったのかというと、地域で心待ちにしていたという意見もあり、今年度は全地域に確実に1年で回れるようにする計画。また、お声かけいただいたら、出向いて行って出前議会をするという姿勢をもっている。 |
| 2 | 議員の役割について。市の催し、自主防災、ボランティア活動を励ます催し、消防団関連、人権学習など、市民もいろんな参加をする。自治委員は全て参加している。報酬を自治委員の11倍も受け取っている市議会議員の中に、参加しない者がいる。それは、問題ないのか。 | 地方分権時代において、自治体議会の重要性が増している。催しに出席することを期待される市民もいるが、11倍の報酬は、催しへの参加に対するものではない。本来の議員の仕事は、まず議事機関のメンバーとして、議論を尽くし、チェック機能を果たすことである。催し等に出席して、地域課題や市民の意見を聞くことも大切である。 |
| 3 | 地域の要望をどれだけ議員が把握し、実現しようとしているのか。自治会長だけがやればいいのか。そうではないはず。議員も一緒にやらなければならないのではないのか。 | 自治会関係者と同様に、要望をそのまま伝えるだけでは足りない。全市的な観点から様々な論点について議論し、利害調整も行っていくのが議会の仕事である。 |
| 4 | 過去数年間、大きな風水害が起こっている。まだ風水害の後始末ができていないところがたくさんある。なぜ、災害復旧の中に入っていないのか。土木、農林の担当と話をしたら、それぞれ法的問題があって区分けがされているようだ。早急に対応してほしい。要望。 | 議会としても目を向けている問題。災害復旧について、複数件の被害がなければならぬことや被害面積、工事費40万円未満の被害は補助対象外などの要件があった。これについては、昨年6月から議会の要望などを受けて、40万円未満でも対応するという市独自の制度ができた。 |
| 5 | 議会だよりには、予算案のチェック機能がなどと書かれている。議会の本来の仕事はチェックではないと思う。議員は、本来、監査役ではなく、取締役のようなもの。首長とともによりよい亀岡市をつくっていただきたいと思う。ネガティブチェックではなく、首長の行動を応援するのが仕事ではないか。 | — |
| 6 | 公共交通について。非常に不便を感じるころ。デマンド方式をどのように運営するのか、いち早く情報をいただきたい。そうすれば、自治会から案内もできる。要望。 | デマンド方式による運行をしようとしている。みなさんからご意見をいただきながら、今後具体化されていく。 |
| 7 | 昔と比べ、今は交通機関が不便になってきている。亀岡方面への直通バスがなく、乗り換えが必要。高齢者や子どもの通学も不便。運動公園で乗り換えて、待つというのは不便。バスがないということは、マイカーも増えるし、交通事故も増えると思う。 | — |

議会報告会で頂いた意見・要望等と回答について

本梅会場

| | 意見・要望などの概要 | 当日回答内容 |
|----|--|--|
| 8 | 3月定例会の農業改革に関する請願に反対多数とはどのような考え方なのか。 | 産業建設常任委員会で審査した。請願には様々盛り込まれていたが、議論のポイントは、家族農業を守って、これからもやっていくべきだ、という内容が入っていたこと。これからは集落営農が主体であり、亀岡はほ場整備も進むので、家族営農が成り立たない中で、法人化も含めた営農活動を進めていくのがよいのではないかとということで、このような採決結果になったものである。 |
| 9 | 農業公社は肥料だけつくっていて、田植えなどしてもらえない。園部はしてもらえる。成り立ちがちがうとされているが、集落営農より農業公社に力を入れてほしい。 | — |
| 10 | 特別委員会の中で、退職手当債について述べられているが、退職者のために市が起債するということなのか。民間の銀行から担保に融資を受けて、償還をしていくという内容なのか。 | 退職手当については、そのための貯金をしていなかった。国は条件付きで退職手当債を認めた。平成27年度予算では、退職手当債を民間資金として予算措置している。財政調整基金が平成27年度末には6億円程度しかないで、更に3億円も取り崩すと災害が起こったときに困るということで、今回は市債として予算措置することになった。 |
| 11 | 今後どのように、幼児教育に関して進めていくのか。幼保一元化等、今後の考えは。 | 亀岡市では幼保一元化はしていない。今回は、子育て支援を目的に新たに預り保育料を定めたという内容。 |
| 12 | 法令の改正で、教育長が教育委員長と一緒に職になる。論点となった中立性の担保の意味は。 | 今度の法改正で、行政の教育委員会の事務方のトップである教育長が、大きな権限をもつことになる。首長の考えを強く受けた教育長によって、そちらに傾くのではないかと、という議論が全国で巻き起こった。 |
| 13 | 保育園と幼稚園の保育料の違いは何か。その違いはどこに出てくるのか、というのが素朴な疑問。 | 今回はそこまでの議論はしていない。 |
| 14 | サッカースタジアムが亀岡にできるというが、市の中心部の渋滞対策をどう考えているか。 | 渋滞については私たちも心配しているが、スタジアム完成と合わせて、アクセス道路整備も進んでおり、京都縦貫自動車道や国道9号からの接続なども考慮した広域的な道路整備が今後大きく進む。スタジアムを機として西部地域とのつながりも、亀岡駅までもっと早く到達できる環境が整ってくるのではないかと期待している。 |

議会報告会で頂いた意見・要望等と回答について

千代川会場

| | 意見・要望などの概要 | 当日回答内容 |
|---|---|--|
| 1 | 安心安全なまちづくりとはどのようなまちづくりを目指しているのか。 | 地域協働でまちづくりを行い、幼児から高齢者まで安心して生活ができ、住みやすいまちづくりを目指す。 |
| 2 | 通勤通学に使われている団地内の道路、道幅が狭く朝ラッシュ時車も通るので側溝の整備をしてほしい。 | 道の所有が市であれば地元自治会を通して要望してほしい。個人所有の場合は地権者の合意が必要になる。 |
| 3 | 千代川小学校前の通学路について、道路が非常に狭く、交通量が多く危険である。速度規制等、さらなる安全確保してほしい。 | 通学路の整備は重要と認識しており、道路標識やスクールゾーンの整備をしてきた。今後、さらに意見を聞きながら改善していきたい。 |
| 4 | アユモドキを守れとの声があるが、そもそもアユモドキが減っているのはスタジアム開発で無く外来魚によるもの、これを駆除すべき。 | 意見として伺った。 |
| 5 | スタジアムについて、サンガのファンなので建設賛成したが、経済的・環境的にどうなのか。議員間でどのように議論されたのか。賛成、反対の意見を聞きたい。 | <p>反対：治水問題で桂川架道整備が出来ておらず危険である。なぜ、京都府がプロのスポーツにお金をだすのか。本来、スポンサー企業が出すべき。水道水源の真下なので、命の飲み水が危ないし、アユモドキの存続も危ない。</p> <p>賛成：スタジアム建設により広域で本市に注目が集まる。これにより各インフラ整備が進む。収支はスタジアム単体でなく本市全域の活性化につながる。スタジアムを核として亀岡市の経済の起爆剤としたい。</p> |

議会報告会で頂いた意見・要望等と回答について

東つじ会場

| | 意見・要望などの概要 | 当日回答内容 |
|----|--|--|
| 1 | 議案の賛否が分かれているが、全員の中で話し合い、まとめられないのか。 | 全員一致で賛成しているものもある。賛否にはそれぞれ議員の立場があるが、決まったことについてはお互いに理解した上で、議会として行動している。 |
| 2 | 公共交通(バス)について、同じ市内でも東別院町や西別院町など地域間で格差がある。市のバスを運行してもらうことはできないのか。予約をして運行してもらうことはできないのか。 | 交通空白地域の公共交通について、公共交通対策特別委員会でも取り組んでいる。市では、5カ年の計画期間で試験運行などを実施し、デマンド方式の導入も検討していく状況であるが、対象範囲が広いいため、どのような方法が良いのか議会でも議論している。 |
| 3 | 議会報告会の開催は、今後も次の定例会が始まる前と、間隔が開いてされるのか。 | 議会報告会は、定例会の要点など整理し、議会だよりを用いて報告しているため、このような時期になる。 |
| 4 | ホームページで3月定例会の議事内容を見たいが、誰にでもわかりやすいようにならないのか。例えば質問事項をクリックするとその質問・答弁内容が見れるようになれば便利と思う。 | ホームページの精度を上げていけば不可能ではないと思うが、議事録の公開には一定の期間を要する。また、本会議の録画配信もしているが、そのような設定等は困難である。 |
| 5 | パブリックコメントは、実際に参考にしているのか。声を聴こうというポーズなのか。スタジアムでは大多数の声とは違う方向に進んでいる。本当に市民の声を聴く気なら、納得できるように後で説明してほしい。 | パブリックコメントは参考とするため聴いているが、コメントをされない人の意見も反映させなければならない。パブリックコメントだけが全てではなく、幅広く意見を聴く中で議員は判断している。 |
| 6 | 少子化、若者の流出が進んでいる。過疎地でも若いお母さんと一緒に議員が懇談会をしているところでは、若い世代が増えていると聞いている。子育て支援については就学後も充実が必要。亀岡の良さを生かしたまちづくりを望む。 | 若い世代の声をじかに聴くことも大切だと思う。努力を重ね市政に反映させたい。総務文教常任委員会では放課後児童会について意見交換会を実施したこともある。高齢化が進み扶助費も増大している中、子育て支援をどうするかも合わせて、議会として積極的に取り組んでいる。 |
| 7 | スタジアムについて、市民に説明することを今からでもすべき。心配点もある。きちんと説明すると盛り上がるのでは。 | 市民の皆様に向けて内容を広く知ってもらえるよう、広報の充実や説明機会について、議会として伝えていく。 |
| 8 | ハザードマップについて、駅北は浸水地域であるので住宅地として適切ではない。ハザードマップは無関係なのか。ハザードマップの見直しは。 | 駅北については、桂川の治水対策等を踏まえ、京都府の判断により、都市計画を決定、許可されたものである。ハザードマップに浸水区域として指定されているなら当然改訂すべきと考える。 |
| 9 | 障害者権利条約をわかりやすく説明した絵本が出版された。議会でも障害者権利条約について勉強する機会をもっていただきたい。 | 議会としても参考にしていきたい。 |
| 10 | 障害者の声を市政に反映できるよう、作業所などに出向いて障害者と意見交換ができる機会を設けてほしい。 | 過去にはそのような意見交換をした経過もあり、今後も参考にさせていただく。 |

議会報告会で頂いた意見・要望等と回答について

東つづじ会場

| | 意見・要望などの概要 | 当日回答内容 |
|----|---|---|
| 11 | スタジアム建設について、2年前住民投票を求める直接請求があったが、市長は必要ないと述べられ、それに対して議会もそれを不要とした。その理由が聞きたい。市の大きな問題として住民が賛否を問うように求めているものなのに、なぜ問わないのか。 | 賛成、反対の理由はそれぞれあり、様々に議論した経過はあったが、結果として賛成少数で否決されたものである。そのような声を聴く機会をもつことは大切であり、議会として今後も考えていきたい。 |
| 12 | 住民投票が否決された際には、反対した議員からも情報は市民に公開していかなくてはならないことを言われていたが、十分に説明されていないのではないのか。 | 意見として受け止め、今後の議会活動に生かしていきたい。 |
| 13 | 市道中矢田篠線の開通により交通量が増加しており、横断時などの交通安全対策が必要である。議会からも支援願いたい。 | 意見として受け止め、今後の議会活動に生かしていきたい。 |